

# ウェットコート塗布方法

(御影石研磨面／鏡面仕上げ面)

- 予備テスト** ・サンプル板等で、下記方法にしたがって塗布し、色調等の確認を行なって下さい。色調は塗布直後ではなく数日後の状態で判断して下さい。  
・前記を参照に塗布施工が可能かどうか石材の状態確認をしておいて下さい。

**前処理** イシクリーンシリーズ洗浄剤で石材の汚れを除去します。

**乾燥** 石材を十分に乾燥させて下さい。  
モルタル目地の場合は、目地の乾きが目安となります。

**塗布** 原液をきれいな刷毛、ウェス等で均一に塗布して下さい。図B参照標準塗布量を参照にし、2回に分けて塗布しますので、塗布量の半量を目安にして下さい。尚、スプレー塗布は厳禁です。しばらくすると(15～20分後)溶剤が揮発して、粘性のある樹脂が残ります。  
⇒ 気温、石材の状態によって時間は変わります。  
(溶剤の揮発は室温等により変わりますが5分位ですぐに揮発するようでしたら塗布量が少ないので塗布回数をもう1回増やして下さい。)

**拭き取り** 乾いたキレイなウェスで表面に残った樹脂の拭き取りを行ないます。拭き取り方法は図Cを参照して下さい。  
拭き取りは角度を変えて見ながら、油分が残らないよう十分に行なって下さい。

**再塗布** 前記と同じ方法でもう一度繰り返し塗布作業を行なって下さい。

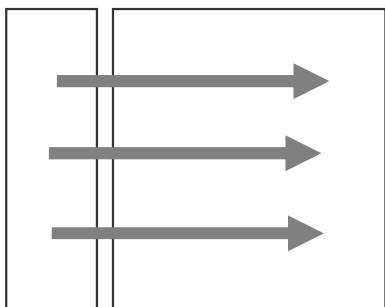
**拭き取り** 乾いたキレイなウェスで表面に残った樹脂の拭き取りを行ないます。最終拭き取りは、薄膜が残らないよう十分に拭き取りを行なって下さい。拭き取り後に乾バフをかけますと光沢が上がります。

**養生** 6時間以上は水がかからないようにして下さい。  
12時間は一般歩行を避けて下さい。  
※ 特にバーナー仕上げの場合は乾燥が遅い場合がありますので、養生は十分におこなってください。

**注意点：**ふき取りは十分におこなって下さい。特にバーナー仕上げ面はふき取りが不十分だと、表面がベトツキ、汚染物が付着しやすくなります。

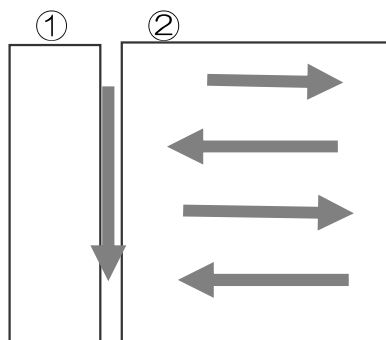
塗布方法

図A 目地をまたいで塗布しない(悪い例)



※目地がセメント目地の場合

図B 目地を先に塗布してから 石材1枚ずつ塗布する



拭き取り

図C 円を描くように拭取りを行なう

